

産科婦人科学講座

Obstetrics and Gynecology

教授	齋藤 滋	Shigeru Saito
准教授	日高 隆雄	Takao Hidaka
准教授(前)	中村 隆文	Takahumi Nakamura
助教	長谷川 徹	Toru Hasegawa
助教	中島 彰俊	Akitoshi Nakashima
助教	立松美樹子	Mikiko Tatematsu
助教(前)	若杉 聡美	Satomi Wakasugi
助教(前)	柳楽 清文	Kiyofumi Nagira

◆ 著 書

- 1) 齋藤 滋：13-d わが国における出生体重の減少とその要因 出生体重の減少がもたらす懸念。「DOHaD その基礎と臨床生活習慣病の根源を探る：胎生期から乳児期までの環境と成人期の健康問題」板橋家頭夫・松田義雄編集，109-112，金原出版，東京，2008.
- 2) 日高隆雄：私のインシデント・ノート「ホルモン補充療法と脳梗塞」*Medical Doctor*, 45: 6-7, 2008.
- 3) 塩崎有宏, 齋藤 滋：II. 妊娠—B. 異常妊娠 7. 切迫早産とその取り扱い方。「産婦人科治療増刊 周産期診療プラクティス」564-569, 永井書店, 大阪, 2008.
- 4) 塩崎有宏, 酒井正利, 齋藤 滋：II. 産科(周産期) §10. 妊娠 1. 妊娠の生理。「産婦人科学テキスト」倉智博久・吉村泰典編集, 380-420, 中外医学社, 東京, 2008.
- 5) 齋藤 滋：I. 妊産婦健診3. 各健診項目の意義とその異常。(2)血圧, 尿検査。「母子保健情報第58号」15-18, 社会福祉法人恩賜財団母子愛育会, 東京, 2008.

◆ 原 著

- 1) Saito S., Nakashima A., Myojo-Higuma S., Shiozaki A.: The balance between cytotoxic NK cells and regulatory NK cells in human pregnancy. *J Reprod Immunol*, 77: 14-22, 2008.
- 2) Nakashima A., Shiozaki A., Myojo S., Ito M., Tatematsu M., Sakai M., Takamori Y., Ogawa K., Nagata K., Saito S.: Granulysin produced by uterine natural killer cell induces apoptosis of extravillous trophoblast in spontaneous abortion. *Am J Pathol*, 173: 653-664, 2008.
- 3) Sugiura-Ogasawara M., Aoki K., Fujii T., Fujita T., Kawaguchi R., Maruyama T., Ozawa N., Sugi T., Takeshita T., Saito S.: Subsequent pregnancy outcomes in recurrent miscarriage patients with a paternal or maternal carrier of a structural chromosome rearrangement. *J Hum Genet*, 53: 622-628, 2008.
- 4) Nishijo M., Tawara K., Nakagawa H., Honda R., Kido T., Nishijo H., Saito S.: 2, 3, 7, 8,-Tetrachlorodibenzo-*p*-dioxin in maternal breast milk and newborn head circumference. *J Expo Sci Environ Epidemiol*, 18: 246-251, 2008.
- 5) Lin Y., Zhong Y., Shen W., Chen Y., Shi J., Di J., Zeng S., Saito S.: TSLP-induced placental DC activation and IL-10+ NK cell expansion: Comparative study based on BALB/cx C57BL/6 and NOD/SCID X C57 BL/6 pregnant models. *Clin Immunol.*, 126: 104-117, 2008.
- 6) Hirata T., Osuga Y., Hamasaki K., Yoshino O., Ito M., Hasegawa A., Takemura Y., Hirota Y., Nose E., Morimoto C., Harada M., Koga K., Tajima T., Saito S., Yano T., Taketani Y.: Interleukin (IL)-17A Stimulates IL-8 Secretion, Cyclooxygenase-2 Expression, and Cell Proliferation of Endometrial Stromal Cells. *Endocrinology*, 149: 1260-1267, 2008.
- 7) Hashimoto I., Koizumi K., Tatematsu M., Minami T., Cho S., Takeno N., Nakashima A., Sakurai H., Saito S., Tsukada K., Saiki I.: Blocking on CXCR4 / mTOR signaling pathway induces the anti-metastatic properties and autophagic cell death in peritoneal disseminated gastric cancer. *Eur. J. Cancer*, 44: 1022-1029, 2008.
- 8) 齋藤 滋：特集 生殖医療の現状と問題 不育症の原因と治療. 日本医師会雑誌. 137: 39-43, 2008.
- 9) 齋藤 滋：D.産科疾患の診断・治療・管理. 8. 合併症妊娠の管理と治療. 日本産科婦人科学会雑誌, 60: 41-49, 2008.
- 10) 齋藤 滋：生殖医療 日本生殖免疫学会. 産婦人科の実際. 57(1): 1071-1075, 2008.
- 11) 齋藤 滋：シンポジウム 2「早産—予防・出生児の管理・手術の限界」座長まとめ. 日本周産期・新生児医学会雑

誌, 44: 23-24, 2008.

- 12) 齋藤 滋：シンポジウム 2「早産 - 予防・出生児の管理・手術の限界」日本における早産の実態と予防対策. 日本周産期・新生児医学会雑誌, 44: 845-849, 2008.
- 13) 塩崎有宏, 齋藤 滋：甲状腺疾患合併妊娠. 日本産科婦人科学会雑誌, 60: 41-45, 2008.
- 14) 塩崎有宏, 齋藤 滋：自己免疫疾患・膠原病合併妊娠. 日本産科婦人科学会雑誌, 60: 45-49, 2008.
- 15) 柳楽清文, 済木育夫, 高橋宏三, 小川和夫, 柴垣ゆかり, 日高隆雄, 齋藤 滋：更年期障害例に対する東洋医学に基づく個の医療の創生—プロテオミクス解析による治療効果の予測—. 産婦人科漢方研究のあゆみ 25: 66-73, 2008.
- 16) 米田 哲, 伊奈志帆美, 塩崎有宏, 伊藤実香, 島 友子, 米田徳子, 齋藤 滋：羊水中チオレドキシン, IL-6, IL-8 からみた FIRS. 日本周産期・新生児医学会雑誌, 44: 1034-1038, 2008.

◆ 症例報告

- 1) Hasegawa T., Yamakawa Y., Ota S., Kamei T., Tateno M.: Delivery by cesarean section after embolization for vaginal arteriovenous malformation. *Gynecol Obstet Invest*, 65(1): 24-28, 2008.
- 2) Hasegawa T., Matsui K., Yamakawa Y., Ota S., Tateno M., Saito S.: Exaggerated placental site reaction following an elective abortion. *J Obstet Gynaecol Res*, 34: 609-612, 2008.

◆ 総 説

- 1) 齋藤 滋：周産期脳障害の原因とその予防—周産期脳障害の予防と治療—抗炎症, 免疫調節による脳保護. 周産期医学, 38: 739-741, 2008.
- 2) 齋藤 滋：妊娠高血圧症候群の発症と免疫. 臨床免疫・アレルギー科, 50: 82-89, 2008.
- 3) 塩崎有宏, 齋藤 滋：病態生理を解く 免疫と妊娠高血圧症候群. 産婦人科の実際, 57: 23-30, 2008.
- 4) 塩崎有宏, 齋藤 滋：45. 絨毛膜羊膜炎の検査. 周産期医学増刊 周産期臨床検査のポイント. 38: 200-206, 2008.
- 5) 長谷川徹, 齋藤 滋：I 病態と疾患 産科救急 流産・絨毛性疾患. 救急医学, 32: 995-999, 2008.
- 6) 中島彰俊, 伊藤実香, 齋藤 滋：妊婦の感染症 妊婦の免疫学. 臨床婦人科産科, 62: 807-811, 2008.
- 7) 中島彰俊, 齋藤 滋：婦人科 I. 婦人科一般 10. トリコモナス膣炎. 産科と婦人科, 75: 1441-1445, 2008.
- 8) 伊奈志帆美, 米田 哲, 塩崎有宏, 齋藤 滋：周産期 I. 母体感染症 6. 絨毛膜羊膜炎. 産科と婦人科, 75: 1550-1555, 2008.
- 9) 島 友子, 齋藤 滋：第 3 章 臓器特異的な樹状細胞 4. 生殖器における樹状細胞サブセット機能. 実験医学増刊, 21: 140-145, 2008.

◆ 学会報告

- 1) Saito S.: Luncheon seminar. Prevention of Preterm Birth and Treatment for Women in Preterm Labor. 15th Congress of the Federation of Asia and Oceania Perinatal Societies, 2008, 5, 20-24, Nagoya. (Invited)
- 2) Saito S.: Symposium2. "Preeclampsia" The role of immune system in pre-eclampsia. 15th Congress of the Federation of Asia and Oceania Perinatal Societies, 2008, 5, 22-24, Nagoya. (Invited)
- 3) Nakashima A., Shiozaki A., Myojo S., Ito M., Tatematsu M., Saito S.: Decidual Natural Killer cell derived granulysin induces apoptosis of extravillous trophoblast in miscarriage. 14th International Federation of Placenta Associations Meeting. 2008, 9, 10-13, Seggau Castle, Austria.
- 4) Tatematsu M., Nakashima A., Saito S.: Autophagy plays roles in the invasion of extravillous trophoblast into the maternal side in severe environments. 14th International Federation of Placenta Associations Meeting. 2008, 9.10-13, Seggau Castle, Austria.
- 5) Ito M., Nakashima A., Ina A., Okabe M., Yoneda S., Shiozaki A., Nikaido T., Saito S.: IL-17 in the pathogenesis of preterm labor. *American Society for Reproductive Immunology*, 2008, 6, 10-14, Chicago, USA.
- 6) 齋藤 滋：32 週未満の早産をいかにして防ぐか. 第 20 回武庫川産婦人科セミナー, 2008, 1, 26, 兵庫. (招待講演)
- 7) 齋藤 滋：32 週未満の早産をいかにして防ぐか. 第 10 回三重県産婦人科疾患治療研究会, 2008, 2, 14, 三重. (招待講演)
- 8) 齋藤 滋：子宮頸がんヒトパピローマウイルスについて. 富山県健康増進センター講演会, 2008, 3, 5, 富山. (招待講演)
- 9) 齋藤 滋：シンポジウム 2「早産—予防・出生児の管理・手術の限界」日本における早産の実態と予防対策. 第 44 回日本周産期・新生児医学会学術集会, 2008, 7, 13-15, 横浜. (招待講演)

- 10) 齋藤 滋：他科の先生にも知っていただきたい産婦人科救急疾患. 下新川郡・魚津市医師会生涯教育講演会, 2008, 8, 21, 富山. (招待講演)
- 11) 齋藤 滋：日本における早産の実態と早産予防についての最近の知見. 奈良県産婦人科医会第 72 回臨床カンファレンス, 2008, 9, 18, 奈良. (招待講演)
- 12) 齋藤 滋：日本における早産の実態と早産予防についての最近の知見. 第 4 回香川周産期カンファレンス, 2008, 11, 21, 香川. (招待講演)
- 13) 日高隆雄：教育シンポジウム「婦人科癌術後のリンパ浮腫に対する治療成績」. 第 44 回日本婦人科腫瘍学会学術集会, 2008, 7, 17-19, 名古屋.
- 14) 日高隆雄：西洋医が行なう漢方的診断法と更年期障害に対する漢方処方の実際. 第 13 回新潟産婦人科漢方の集い, 2008, 8, 22, 新潟.
- 15) 日高隆雄：シンポジウム「更年期障害に対する加味逍遙散の証と臨床効果について」. 第 28 回産婦人科漢方研究会学術集会, 2008, 9, 21, 宇都宮.
- 16) 日高隆雄, 米澤理可, 伊藤実香, 島 友子, 立松美樹子, 明星須晴, 中島彰俊, 長谷川徹, 齋藤 滋：婦人科癌術後のリンパ浮腫に対する治療成績. 日本産科婦人科学会北日本連合地方部会総会・学術講演会, 2008, 9, 13-14, 弘前.
- 17) 日高隆雄, 米澤理可, 島友子, 立松美樹子, 中島彰俊, 長谷川徹, 齋藤 滋：子宮頸癌Ⅲb 期に対する術前化学療法の有用性の検討. 第 46 回日本癌治療学会総会, 2008, 10, 30- 11, 1, 名古屋.
- 18) 日高隆雄：西洋医が行なう漢方的診断法と更年期障害に対する漢方処方の実際. 耳鼻咽喉科漢方の集い. 2008, 11, 6, 富山.
- 19) 塩崎有宏, 米田 哲, 齋藤 滋：周産期免疫：シンポジウム「常態と病態 2 妊娠高血圧症候群」. 第 18 回日本産婦人科・新生児血液学会. 2008, 6, 27-28, 福岡.
- 20) 塩崎有宏, 伊藤実香, 米田徳子, 立松美樹子, 明星須晴, 米田 哲, 齋藤 滋：Th1/Th2 バランスからみた妊娠高血圧腎症の臨床症状. 第 44 回日本周産期・新生児医学会総会・学術集会. 2008, 7, 13-15, 横浜.
- 21) 塩崎有宏, 稲田貢三子, 伊藤実香, 伊奈志保美, 明星須晴, 米田 哲, 齋藤 滋：Th1/Th2 比正常型 PE の臨床症状. 第 29 回日本妊娠高血圧学会. 2008, 10, 11-12, 福島.
- 22) 長谷川徹, 山川義寛, 大田 悟, 齋藤 滋：PSTT との鑑別に苦慮した過大着床部の 1 例. 第 60 回日本産科婦人科学会総会・学術講演会. 2008, 4, 12-15, 横浜.
- 23) 長谷川徹, 米澤理可, 米田徳子, 立松美樹子, 中島彰俊, 日高隆雄, 齋藤 滋：卵巣癌合併妊娠の 3 例. 第 46 回日本癌治療学会総会. 2008, 10, 30- 11, 1, 名古屋.
- 24) 米田 哲, 伊奈志帆美, 塩崎有宏, 齋藤 滋：シンポジウム 2「羊水中サイトカインと胎児モニタリングによる FIRS の予測」. 第 18 回 日本産婦人科・新生児血液学会. 2008, 6, 27-28, 福岡.
- 25) 米田 哲, 伊奈志帆美, 塩崎有宏, 齋藤 滋：ワークショップ 5「羊水中チオレドキシン, IL-6, IL-8 からみた FIRS」. 第 44 回日本周産期・新生児医学会総会・学術集会. 2008, 7, 13-15, 横浜.
- 26) 米田 哲, 米田徳子, 立松美樹子, 伊奈志帆美, 塩崎有宏, 齋藤 滋：妊娠 27 週未満の胎胞形成症例と前期破水症例の比較検討. 第 44 回日本周産期・新生児医学会総会・学術集会. 2008, 7, 13-15, 横浜.
- 27) 米田 哲, 稲田貢三子, 島 友子, 伊藤実香, 塩崎有宏, 齋藤 滋：未破水切迫早産例の分娩時期は予測できるか?. 平成 20 年度日本産科婦人科学会富山地方部会第 3 回例会・特別講演会. 2008, 9, 3, 富山.
- 28) 米田 哲, 稲田貢三子, 島 友子, 伊藤実香, 塩崎有宏, 齋藤 滋：未破水切迫早産症例の分娩時期は予測できるのか?. 第 56 回日本産科婦人科学会北日本連合地方部会総会・学術講演会, 2008, 9, 13-14, 弘前.
- 29) 米田 哲, 稲田貢三子, 島 友子, 伊藤実香, 伊奈志帆美, 塩崎有宏, 齋藤 滋：未破水切迫早産症例の分娩時期は羊水中 IL-8 値と臨床症状を指標とした Preterm Labor Index で予測できる. 第 23 回日本生殖免疫学会総会・学術集会, 2008, 12, 6-7, 富山.
- 30) 柳楽清文, 齋藤 滋：エストラジオール (E2) とプロゲステロン (P4) のアディポサイトカインからみたインスリン抵抗性. 第 60 回日本産科婦人科学会総会・学術講演会. 2008, 4, 12-15, 横浜.
- 31) 柳楽清文, 笹岡利安, 和田努, 齋藤 滋：エストラジオールとプロゲステロンによるアディポカイン産生の制御によるインスリン感受性調節機構の解明. 第 51 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2008, 5, 22-24, 東京.
- 32) 明星須晴, 伊藤実香, 稲田貢三子, 米田 哲, 塩崎有宏, 齋藤 滋：生児に羊水過少, 無心体児に羊水過多を認めた Twin Reversed Aerial Perfusion (TRAP) sequence の一例. 第 36 回日本産科婦人科学会北陸連合地方部会学術講演会・総会. 2008, 6, 15, 金沢.
- 33) 中島彰俊, 米澤理可, 立松美樹子, 稲坂 淳, 橋本佳子, 長谷川徹, 日高隆雄, 齋藤 滋：PET 陽性の子宮外発生した

平滑筋重の二例. 平成 20 年度日本産科婦人科学会富山地方部会第 2 回例会・特別講演会, 2008, 7, 2, 富山.

- 34) 中島彰俊, 塩崎有宏, 伊藤実香, 立松美樹子, 明星須晴, 齋藤 滋: 流産症例において, Granulysin 陽性 NK 細胞は Extravillous trophoblast (EVT) をアポトーシスに陥らせる. 第 16 回日本胎盤学会学術集会, 2008, 11, 13-14, 浜松.
- 35) 中島彰俊, 塩崎有宏, 明星須晴, 伊藤実香, 立松美樹子, 齋藤 滋: 脱落膜 NK 細胞由来 Granulysin は絨毛外トロホブラストにアポトーシスを誘導し, 流産誘導に関与する. 第 23 回日本生殖免疫学会総会・学術集会, 2008, 12, 6-7, 富山.
- 36) 立松美樹子, 中島彰俊, 齋藤 滋, 二階堂敏雄: オートファジーにより低栄養, 低酸素下での絨毛外栄養細胞浸潤能は亢進する. 第 60 回日本産科婦人科学会総会・学術講演会. 2008, 4, 12-15, 横浜.
- 37) 立松美樹子, 中島彰俊, 齋藤 滋: シンポジウム「オートファジーの絨毛外栄養細胞における新たな調節機構」. 第 16 回日本胎盤学会学術集会, 2008, 11, 13-14, 浜松.
- 38) 伊奈志帆美, 堀川慎二郎, 東山弘幸, 吉田丈俊, 宮脇利男, 齋藤 滋: ジアゾキサイドが有効であった高インスリン性低血糖症の 2 症例. 第 53 回日本未熟児新生児学会学術集会・総会. 2008, 10, 30-11, 1, 札幌.
- 39) 米田徳子, 中島彰俊, 戸田文香, 西山玲奈, 米澤理可, 伊藤実香, 米田 哲, 塩崎有宏, 齋藤 滋, 二階堂敏雄: Preterm PROM では羊膜中の alpha 1 antitrypsin が酸化され, その活性が低下している. 第 60 回日本産科婦人科学会総会・学術講演会. 2008, 4, 12-15, 横浜.
- 40) 伊藤実香, 中島彰俊, 米田 哲, 立松美樹子, 稲坂 淳, 塩崎有宏, 齋藤 滋: 妊娠における Th17 細胞の役割についての検討. 第 60 回日本産科婦人科学会総会・学術講演会. 2008, 4, 12-15, 横浜.
- 41) 伊藤実香, 中島彰俊, 伊奈志帆美, 岡部素典, 米田 哲, 塩崎有宏, 二階堂敏雄, 齋藤 滋: IL-17 の絨毛膜羊膜炎における役割. 第 10 回北信越立山セミナー. 2008, 8, 1-2, 新潟.
- 42) 伊藤実香, 中島彰俊, 伊奈志帆美, 岡部素典, 米田 哲, 塩崎有宏, 二階堂敏雄, 齋藤 滋: 好中球, 単球, T 細胞から産生される IL-17 は TNF α と相乗的に作用し羊膜上皮, 間葉系細胞からの IL-8 産生を亢進させる. 第 23 回日本生殖免疫学会総会・学術集会, 2008, 12, 6-7, 富山.
- 43) 島 友子, 稲田貢三子, 伊藤実香, 米田 哲, 塩崎有宏, 齋藤 滋: 先天性白内障の一例. 平成 20 年度日本産科婦人科学会富山地方部会第 4 回例会・特別講演会. 2008, 10, 31, 富山.
- 44) 米澤理可, 長谷川徹, 立松美樹子, 中島彰俊, 日高隆雄, 齋藤 滋: 妊娠中に発見された卵巣癌 3 症例. 第 36 回日本産科婦人科学会北陸連合地方部会学術講演会・総会. 2008, 6, 15, 金沢.
- 45) 平田哲也, 大須賀穰, 濱崎かほり, 吉野 修, 原田美由紀, 長谷川亜希子, 田島敏樹, 児玉亜子, 伊藤実香, 齋藤滋, 矢野 哲, 武谷雄二: 子宮内膜症における Th17 の発現とその意義. 第 60 回日本産科婦人科学会総会・学術講演会. 2008, 4, 12-15, 横浜.

◆ その他

- 1) 齋藤 滋: 婦人科がん治療の進歩. 医報とやま, No1449: 8-11, 2008.
- 2) 齋藤 滋: 改善してきた産婦人科医療を取り巻く環境. 東海北陸地区臨床研修病院合同説明会, 2008, 5, 11, 名古屋.
- 3) 立松美樹子: 保健講話「みんなに聞いてほしい性についての話」. 富山県立石動高等学校, 2008, 7, 4.
- 4) 立松美樹子: エイズ・性感染症予防講演会「みんなに聞いてほしい性についての話」. 射水市小杉中学校, 2008, 7, 8.
- 5) 立松美樹子: 健康保健教室「みんなに聞いてほしい性についての話」. 高岡向陵高等学校, 2008, 7, 11.
- 6) 立松美樹子: 性に関する講演会「みんなに聞いてほしい性についての話」. 富山県立新湊高等学校, 2008, 7, 15.
- 7) 立松美樹子: エイズ予防健康教育「エイズと性感染症の予防について」. 富山県立富山南高等学校, 2008, 7, 24.